

よこはま型
若者自立塾

若者自立就労支援 X 石巻進化躍進応援

やっぺす通信発行元

K2 インターナショナルグループ
・NPO 法人ヒューマンフェローシップ
・うんめえもん市

www.K2-inter.com/ishinomaki
Tel: 045-762-1435 (覚知・田上)

忘れないこと・続けること・進化すること

やっぺす通信 Vol.82

2018.9.1 発行

石巻復興支援から石巻進化躍進応援へ

うんめえもん応援団突撃インタビュー！ 応援ファイル No.60

横浜コミュニティデザインラボ 宮島真希子さん

こんにちは!今回のインタビューは、横浜コミュニティデザインラボの宮島真希子さんです。



岩本) 宮島さんのお仕事について、教えていただけますか？

宮島さん) 現在、NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボの理事として、地域の情報発信人材の育成・横浜をフィールドとする NPO 発信型メディアの企画運営を軸に、多様な人たちの対話の場づくり・そこから生まれてくるアイデアを形にするお手伝いをしています。元々は、神奈川県内を対象とする新聞社で、記者としてスポーツから経済までいろいろなことを取材していました。

岩本) K2との出会いはいつ頃になりますか?どんな印象を持たれましたか？

宮島さん) 今年 30 周年を迎える K2 と、私の記者生活スタートは一緒だということがわかりました。ただ、新聞社時代は取材したことはたぶんなかったのではないかと記憶しています。若者支援というデリケートな問題に中途半端に関わって記事にすることの難しさを考えてしまい、近づくことができなかったように思います。2007 年ごろから横浜コミュニティデザイン・ラボに関わるようになり、「第 1 回ヨコハマ・ユースフォーラム」の現場で岩本さんのお話を聞いたのが最初だったように思います。2011 年の東日本大震災後は、「うんめえもん市」ランチ会を開いたり、LOCAL GOOD YOKOHAMA でクラウドファンディングをご一緒したりするなかで、K2 の現場実践から生まれた「語録」のすごさや面白さを知り「なりゆきませ」のすごさを実感しているところです。

岩本) ラボではうんめえもん市ランチ会などももっていました。うんめえもん市との関わりのきっかけやご感想など教えてください。

宮島さん) 横浜コミュニティデザイン・ラボ代表理事の杉浦裕樹の発案で「東北復興を食べて支援」しようと始まりました。また、私たちが運営するシェアオフィス「さくら WORKS <関内>」の会員間の交流も、お弁当をシェアすることで促進できたという思いもありました。また、横浜コミュニティデザイン・ラボは、2011 年に神奈川県と協働で他団体とも協働した「かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業における情報活用モデル開発事業」を担当しており、横浜の団体が被災地でどのような支援をしているのかということにアンテナを張っていて、K2 が横浜で実績を挙げていたモデルを石巻に展開することに関心も持っていました。横浜の若者が、被災地の方達とともに食文化を守り、生かしながら「支援・被支援」という枠組みをこえて「生かし合う」というモデルはとてもいいなと思っています。

岩本) 現在は泰生ポーチフロントや K2 の冊子など色々な面で宮島さんにご協力いただいておりますが、最近の K2 との関わりで感じられている事や今後期待される事などあれば教えてください。

宮島さん) まだまだ知らないことばかりかなと思いますが、K2 がもつとからんでいてほしいことは K2 の哲学は、複雑性が増しているこの社会にもきつと役に立つので、それを広げていてほしいなど。K2 が得意とする演劇を使ったワークショップを開発したり、もちろん本を今後も出版したりしてより多くの人達にユニークな実践知をシェアしてほしいです。

それから、もう一つは、ケアコミュニティを果敢に創造して欲しいです。金沢市に「シェア金沢」という「ごちゃまぜ」という理念を持ってさまざまな施設運営をしている社会福祉法人「佛子園」があります。K2 同様、信仰（この場合は仏教）を根本においておられますが、地域に多様な人達を受け入れる場をつくり、人材を育成し、共生の文化を創造していく点において、とても似ているように思います。

<http://www.okamura.co.jp/magazine/wave/archive/1512oyaA.html>
(社会福祉法人佛子園理事長 雄谷良成氏 インタビュー記事)

使える物は何でも使って、根岸から日本・世界を変えて欲しいです!

岩本) うんめえもん市のお弁当や物産で好きな物があれば教えてください。

宮島さん) 牡蠣・鯖など魚介類を使っているものはすべてお気に入りです。今後の希望としては、熟年世代向けにもう少し薄味テイストのおかず・野菜の惣菜を増やしていただくと嬉しいです。



あかもくうどんと金華鯖の
シャキシャキおかかご飯
680円



金華さばの
味噌煮缶
650円



牡蠣の水煮缶
600円

岩本) 最後に読者の方へのメッセージをお願いします。

宮島さん) 私たちの団体では、月に 1 度、みなでお金を出し合ってお弁当を買い、ランチ会を開いてシェアしてきました。相談をすればおつまみ的なものやケータリングもしてもらえます。

若者と被災地の活動を「食べて応援」できる一石二鳥・三鳥の活動なので、1 人で食べるのもよいですが、仲間との交流の場に「うんめえもん市」のお弁当・物産を登場させてみてはいかがでしょうか。

K2 石巻メンバー紹介コーナー

うんめえもん市に関わるメンバーを紹介していきます。
今回は、K2 石巻メンバーの佐々木 総一郎さんにインタビューをしました。

- ① **K2 に来たきっかけは?**
中学生の頃から不登校で、18歳の時にK2の共同生活寮を見学しに来たことがきっかけです。
- ② **石巻に行って感じたことは?**
人とのつながりが強いことです。
- ③ **K2 石巻に関わるようになって、変わったことは?**
人のために行動できるようになったことが、一番の変化だと思います。
- ④ **うんめえもん市のおすすめ商品を教えてください。**
三陸産の湯通し塩蔵わかめ(730円)です。
歯ごたえがありとても美味しいので、是非お試しください。

ヤマサコウショウで
働き始めて1年以上
継続して頑張っています!



プロフィール

名前 佐々木 総一郎
年齢 30歳
出身 宮城県仙台市
趣味 読書
特技 ギター



K2 石巻第95回川開き祭り報告

第95回石巻川開き祭りが7月31日(火) 8月1日(水)で開催され、今年もK2石巻とJOBCAMPに参加した若者たちで屋台を出店しました。東日本大震災後K2グループが石巻入りした2011年から毎年川開き祭りに屋台を出店していますが、少しずつ様子変化してきていると感じます。以前は復興支援団体やボランティアの方々など県外からの人も多かったのですが、だんだんと地元の方々中心の祭りに戻ってきました。K2グループも県外から石巻に入った団体の一つですが、K2石巻で活動する若者たちは石巻に住民票を移し現地で自立を目指すなど、石巻に根を下ろしながら活動をしています。一昨年、昨年は川開きで屋台出店をする際にスタッフのサポートが必要だった若者たちが、今年は自分たちで目標売上を立てて準備をし出店することが出来たことなど、少しずつ積み重ねてきたものが実ってきていると感じました。石巻と共に若者たちも進化躍進を。やっべす!



川開き たこ焼販売中!!



K2石巻スタッフ 青山 卓司

おっかあ圭子の石巻直伝レシピ

【あかもくパスタのスパサラ】

【材料】(2~3人分)

あかもくパスタ: 1袋 ケリーソース: 5~6枚
水菜: 1束 コーン: 1缶
プチトマト: 5~6個 ゆで卵: 2個
和風ドレッシング: お好みでなんでも可

○作り方

- 1) あかもくパスタを表示時間より、1~2分長めに茹でる。
- 2) 好きな野菜を食べやすい大きさにカットし、あかもくパスタと一緒に盛り付ける。
- 3) お好みのドレッシングをかけて完成。

※今回は和風ドレッシングを使用しました。

あかもくパスタのスパサラ



10月うんめえもん市 開催スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 旭区	4	5 西区	6
7	8	9	10 保土ヶ谷区	11	12	13 マルシェ
14	15	16	17	18 南区	19	20 ほどがや 区民まつり
21 修悠館	22 市役所	23	24	25	26 栄区(物)	27
28	29 都筑区(物)	30 中区	31			

各市役所・区役所の
うんめえもん市開催
スケジュールです。

※磯子区・南区・都筑区は
~16:00まで。
旭区は~15:00まで。

※予定は変更される事があります。
詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

~K2石巻だより~



お盆休み中、K2石巻とK2横浜のメンバーが合流し、福島県矢祭町にキャンプに行き、大自然と美味しい川魚や野菜を満喫しました。